

都市・軍夫・戦争

原田敬一氏

(佛教大学名誉教授)

高校の日本史の授業で近現代史は、「無視」や「飛ばされた」など悪評高いものでした。

今回は、日本近代史の分野を長く牽引してこられた原田敬一氏をお呼びし、これまでの学究生活のなかで何を考え、気づき、どのような研究の迫り方をしてきたのか、戦後歴史学と関係づけながら、批判と反省を試みていただきます。

その上で、今後、近現代史の研究および教育をどのように実践してゆくべきか、ご自身の経験もふまえつつ、論じていただきます。

【主要業績】

『日清戦争論—日本近代を考える足場—』(本の泉社、2020年)

『兵士はどこへ行った—軍用基地と国民国家—』(有志舎、2013年)

『『坂の上の雲』と日本近現代史』(新日本出版社、2011年)

『日清戦争』(吉川弘文館、2008年)

『帝国議会誕生』(文英堂、2006年)

2024年6月23日(日) 14:00～

早稲田大学早稲田キャンパス7号館307教室

対面・オンラインのハイブリッド形式

参加費 800円

申込方法は当会のHPにアップします。

東京歴史科学研究会

〒114-0023 東京都北区滝野川2-32-10-222 (歴科協気付)

TEL&FAX: 03(3949)3749

E-mail: torekiken@gmail.com

X(旧twitter):@torekiken